

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
 全国がん登録と連携した臓器がん登録による大規模コホート研究の推進及び
 高質診療データベースのNCD長期予後入力システムの構築に関する研究

分科会Ⅲ
 臓器がん登録の現状と成果
 そしてその今後の在り方に関する研究

〇〇がん登録の今後の在り方
 昨年度からの進展と課題

分担研究者：	ご所属 埼玉医科大学国際医療センター 乳腺腫瘍科 名前 佐伯俊昭
〇〇がん登録運営母体：	学会名etc 制吐薬GL

A. 臓器がん登録のシステムについて

昨年度の調査は以下の通りです。
 次のスライドの質問にお答えください。

領域	現状カバー率	要改善	目標	検討中の対策
肺がん	手術例の30%	要改善	50%	NCDデータの利用
大腸がん	6~7%	要改善	未定	具体案まだ
腎がん	20%	要改善	80%	NCDで専門医制度と関連させる
前立腺がん	20%	要改善	80%	NCDで専門医制度と関連させる
婦人科がん	60~70%	要改善	80-90%	専門医基幹施設等への周知
小児がん	80%	要改善		複数の登録事業が並列→集約？
皮膚がん	20%（メラノーマ） 40%（皮膚リンパ腫）	要改善	≥50%	皮膚がん診療・登録拠点の拡大
甲状腺がん	不明	要改善		耳鼻科・頭頸部外科からの登録整備
制吐薬GL	NA			

A. 臓器がん登録のシステムについて

カバー率を向上させる対策
 昨年度からの進展と課題・問題点について

対策の進展についてご記載下さい（自由記載）

該当せず。

課題・問題点についてご記載下さい（自由記載）

該当せず。

B. NCDとの連携について

昨年度の調査は以下の通りです。
 次のスライドの質問にお答えください。

領域	連携の予定	目的				連携項目
		専門医制度	悉皆性 カバー率 向上	手間の 軽減	DB管理 体制	
肺がん	連携予定・時期未定		○	○		一部項目
大腸がん	連携予定・時期未定		△			一部項目
腎がん	連携予定・時期未定	○	○		○	未定
前立腺がん	連携予定・時期未定	○	○		○	未定
婦人科がん	×					
小児がん	連携予定・時期未定	○	○	○		一部項目
皮膚がん	×					
甲状腺がん	2016年から実装		○	○		すべて（予後含む）
制吐薬GL	NA					

B. NCDとの連携について：甲状腺がん

甲状腺がん （岡本先生）	回答
NCD実装後の変化	改善された点についてご記載下さい
専門医制度とのリンク カバー率の向上 手間の軽減 データベース管理体制 など	今後の課題と対策についてご記載下さい

B. NCDとの連携について：甲状腺がん以外

甲状腺がん以外	回答
NCDとの連携の予定	<input type="checkbox"/> ① すでに実装：20XX 年から <input type="checkbox"/> ② 今後、連携の予定：20XX 年から実装予定 or 未定 <input checked="" type="checkbox"/> ③ NCDとの連携は考えていない
①の場合 NCD実装後の変化	NCDに実装して改善された点についてご記載下さい
専門医制度とのリンク カバー率の向上 手間の軽減 データベース管理体制 など	NCD実装後の今後の課題についてご記載下さい
②の場合	NCDに実装するための課題についてご記載下さい
	NCDとの連携を考えた理由についてご記載下さい
③の場合	日本癌治療学会、臨床腫瘍学会など化学療法を全般に扱う

C. Registryの対象となるがん種について
 重複が想定される学会との連携について

昨年度の調査は以下の通りです。
 次のスライドの質問にお答えください。

扱う疾患が重複している学会等

日本小児血液・がん学会 ⇔ JCCG（日本小児がん研究グループ）
 固形腫瘍観察研究事業および小児血液腫瘍性疾患の前方視的研究、
 日本血液学会 疾患登録事業、
 日本小児外科学会 悪性腫瘍登録事業

日本皮膚悪性腫瘍学会 ⇔ 日本皮膚科学会
 日本形成外科学会

日本甲状腺外科学会 ⇔ 耳鼻科、頭頸部外科の学会

C. Registryの対象となるがん種について
 重複が想定される学会との連携について

設問	回答
重複が想定される学会があるか	<input type="checkbox"/> ① あり <input checked="" type="checkbox"/> ② なし
①ありの場合	重複が想定される学会名列挙して下さい
①ありの場合、重複が想定される学会との連携は？	<input type="checkbox"/> ③ 連携あり <input checked="" type="checkbox"/> ④ 連携なし
③連携ありの場合	連携の現状と今後の課題について記載して下さい
④連携なしの場合	<input type="checkbox"/> ⑤ 連携の予定あり <input checked="" type="checkbox"/> ⑥ 連携の予定なし
⑤連携の予定ありの場合	
⑥連携の予定なし	必要だが癌登録の記入項目が増える

D. 臓器がん登録データの利活用推進について

昨年度の調査は以下の通りです。
次のスライドの質問にお答えください。

領域	利用ルール	利用した研究	GL等への反映
肺がん	体制あり	あり	あり
大腸がん	体制あり	あり	あり
腎がん	体制あり	あり	未
前立腺がん	体制あり	あり	未
婦人科がん	未	あり	未
小児がん	未	未	未
皮膚がん	未	あり	あり
甲状腺がん	未	未	未
制吐薬GL	未	未	未

D. 臓器がん登録データの利活用推進について

設問	回答
成果のガイドラインへの反映	<input type="checkbox"/> ①すでに行われている <input checked="" type="checkbox"/> ②これから
①すでに行われている場合	<input type="checkbox"/> ③現状でOK <input type="checkbox"/> ④利活用のために改善が必要 ↓ ④の場合、具体的な方策について ()
②これからの場合	臓器別癌登録に、施行された化学療法レジメンと制吐療法のデータが必要です。

E. 全国がん登録と臓器がん登録の連携 について 展望と課題～臓器がん登録の立場から

昨年度の調査は以下の通りです。
次のスライドの質問にお答えください。

1) 期待すること

- ・ 生存/死亡データの確かさ
- ・ 重複する項目のデータを臓器がん登録に流用できれば ...

2) 懸念点・ハードル

- ・ 直接リンクは（NCDも臓器がん登録も）不可
- ・ 自施設の予後データはすんなり入手できるのか？
- ・ どのような形での連携なら可能か？

E. 全国がん登録と臓器がん登録の連携 について 展望と課題～臓器がん登録の立場から

設問	回答
連携するメリットはあると思いますか？	あります。ただし、条件付きです。
連携するための課題と対応策について	臓器癌登録の項目に化学療法を受けた患者群で、実施された治療がガイドラインに準拠したレジメンかどうかを記入する項目と、さらに推奨される制吐療法がおこなわれたかを記入する項目を追加すれば大規模なデータベースが作れます。
全国がん登録に期待すること	推奨される制吐療法を受けた患者のコンプライアンスと予後を検討できます。

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
 全国がん登録と連携した臓器がん登録による大規模コホート研究の推進及び
 高質診療データベースのNCD長期予後入力システムの構築に関する研究

分科会Ⅲ
 臓器がん登録の現状と成果
 そしてその今後の在り方に関する研究

前立腺がん登録の今後の在り方 昨年度からの進展と課題

分担研究者：	所属：大阪大学泌尿器科 名前：野々村 祝夫
前立腺がん登録運営母体：	日本泌尿器科学会

A. 臓器がん登録のシステムについて

昨年度の調査は以下の通りです。
 次のスライドの質問にお答えください。

領域	現状カバー率	要改善	目標	検討中の対策
肺がん	手術例の30%	要改善	50%	NCDデータの利用
大腸がん	6~7%	要改善	未定	具体案まだ
腎がん	20%	要改善	80%	NCDで専門医制度と関連させる
前立腺がん	20%	要改善	80%	NCDで専門医制度と関連させる
婦人科がん	60~70%	要改善	80-90%	専門医基幹施設等への周知
小児がん	80%	要改善		複数の登録事業が並列→集約？
皮膚がん	20%（メラノーマ） 40%（皮膚リンパ腫）	要改善	≥50%	皮膚がん診療・登録拠点の拡大
甲状腺がん	不明	要改善		耳鼻科・頭頸部外科からの登録整備
制吐薬GL	NA			

A. 臓器がん登録のシステムについて

カバー率を向上させる対策
 昨年度からの進展と課題・問題点について

対策の進展についてご記載下さい（自由記載）

NCDの導入によって向上する可能性あり

課題・問題点についてご記載下さい（自由記載）

NCD導入に向けて準備中。
 学術集会において会員全員に、癌登録委員会の活動状況報告する機会が無い。

B. NCDとの連携について

昨年度の調査は以下の通りです。
 次のスライドの質問にお答えください。

領域	連携の予定	目的				連携項目
		専門医制度	代替性カバー率向上	手間の軽減	DB管理体制	
肺がん	連携予定・時期未定		○	○		一部項目
大腸がん	連携予定・時期未定		△			一部項目
腎がん	連携予定・時期未定	○	○		○	未定
前立腺がん	連携予定・時期未定	○	○		○	未定
婦人科がん	×					
小児がん	連携予定・時期未定	○	○	○		一部項目
皮膚がん	×					
甲状腺がん	2016年から実装		○	○		すべて（今後含む）
制吐薬GL	NA					

B. NCDとの連携について：甲状腺がん

甲状腺がん（岡本先生）	回答
NCD実装後の変化	改善された点についてご記載下さい
専門医制度とのリンク カバー率の向上 手間の軽減 データベース管理体制など	今後の課題と対策についてご記載下さい

B. NCDとの連携について：前立腺癌

前立腺癌以外	回答
NCDとの連携の予定	<input type="checkbox"/> ① すでに実装：20XX 年から <input checked="" type="checkbox"/> ② 今後、連携の予定：年度は未定 <input type="checkbox"/> ③ NCDとの連携は考えていない
①の場合 NCD実装後の変化	NCDに実装して改善された点についてご記載下さい
専門医制度とのリンク カバー率の向上 手間の軽減 データベース管理体制など	NCD実装後の今後の課題についてご記載下さい
②の場合	NCDに実装するための課題についてご記載下さい 各施設への周知と理解
③の場合	NCDとの連携を考えた理由についてご記載下さい

C. Registryの対象となるがん種について 重複が想定される学会との連携について

昨年度の調査は以下の通りです。
 次のスライドの質問にお答えください。

扱う疾患が重複している学会等

日本小児血液・がん学会 ⇔ JCCG（日本小児がん研究グループ）
 固形腫瘍観察研究事業および小児血液腫瘍性疾患の前方視的研究、
 日本血液学会 疾患登録事業、
 日本小児外科学会 悪性腫瘍登録事業

日本皮膚悪性腫瘍学会 ⇔ 日本皮膚科学会
 日本形成外科学会

日本甲状腺外科学会 ⇔ 耳鼻科、頭頸部外科の学会

C. Registryの対象となるがん種について 重複が想定される学会との連携について

設問	回答
重複が想定される学会があるか	<input checked="" type="checkbox"/> ① あり <input type="checkbox"/> ② なし
①ありの場合	重複が想定される学会名を列挙して下さい 日本泌尿器腫瘍学会
①ありの場合、重複が想定される学会との連携は？	<input type="checkbox"/> ③ 連携あり <input checked="" type="checkbox"/> ④ 連携なし
③ 連携ありの場合	連携の現状と今後の課題について記載して下さい
④ 連携なしの場合	<input type="checkbox"/> ⑤ 連携の予定あり <input checked="" type="checkbox"/> ⑥ 連携の予定なし
⑤ 連携の予定ありの場合	連携のための課題について記載して下さい
⑥ 連携の予定なし	連携に関するお考えを記載して下さい 今後も日本泌尿器科学会が中心となっていく可能性が高い

D. 臓器がん登録データの利活用推進について

昨年度の調査は以下の通りです。
次のスライドの質問にお答えください。

領域	利用ルール	利用した研究	GL等への反映
肺がん	体制あり	あり	あり
大腸がん	体制あり	あり	あり
腎がん	体制あり	あり	未
前立腺がん	体制あり	あり	未
婦人科がん	未	あり	未
小児がん	未	未	未
皮膚がん	未	あり	あり
甲状腺がん	未	未	未
制吐薬GL	未	未	未

D. 臓器がん登録データの利活用推進について

設問	回答
成果のガイドラインへの反映	<input type="checkbox"/> ①すでに行われている <input checked="" type="checkbox"/> ②これから
①すでに行われている場合	<input type="checkbox"/> ③現状でOK <input type="checkbox"/> ④利活用のために改善が必要 ↓ ④の場合、具体的な方策について ()
②これからの場合	反映させるための方策について記載して下さい 学術雑誌に掲載し、ガイドラインに反映する

E. 全国がん登録と臓器がん登録の連携 について 展望と課題～臓器がん登録の立場から

昨年度の調査は以下の通りです。
次のスライドの質問にお答えください。

1) 期待すること

- 生存/死亡データの確かさ
- 重複する項目のデータを臓器がん登録に流用できれば ...

2) 懸念点・ハードル

- 直接リンクは（NCDも臓器がん登録も）不可
- 自施設の予後データはすんなり入手できるのか？
- どのような形での連携なら可能か？

E. 全国がん登録と臓器がん登録の連携 について 展望と課題～臓器がん登録の立場から

設問	回答
連携するメリットはあると思いますか？	お考えを記載して下さい（自由記載） 一本化すればメリットは大きい
連携するための課題と対応策について	お考えを記載して下さい（自由記載） 入力の様式などの統一化が必要。同様の入力を何度も行わずにすむようにして欲しい。
全国がん登録に期待すること	お考えを記載して下さい（自由記載） 是非ともNCDの登録システムとはリンクできるようにして欲しい。